



# 美杉中学校だより

みんなが幸せになれる学校  
すすんで学び行動しよう  
がんばらあっぱしない

第 11 号  
令和 5 年 9 月 11 日発行  
美杉中学校長

## 全国学力学習状況調査の結果について

4月18日(火)に実施された『全国学力学習状況調査』の結果が過日通知されました。今回、中学3年生は「国語」「数学」「英語」の3教科で実施されました。

三重県の平均正答率は数学が全国とほぼ同数値、国語と英語は若干下回る結果となっています。本校については、国語・数学・英語ともに三重県平均を若干下回る結果となっています。(中央値を見れば、県、全国とほぼ同数値といえます。)さらに、その内容を精査していくと、各教科における「強み」「弱み」となる部分がみえてきます。この結果から読み取れる課題を教職員で共有し、今後の学習活動の改善に向けて取り組んでまいります。また、同時に『生徒質問紙』として、生徒それぞれの生活や考え方などを把握する調査も実施されています。その中で、家庭学習の時間の少なさ、文字に親しむ習慣(読書)が少ないことが気になる点としてあげられます。家庭における時間の過ごし方について一考する機会にさせていただければ幸いです。結果の詳細・考察は以下に掲載いたします。



### 【国語】

○知識・技能 (1) 言葉の特徴や使い方、(2) 情報の扱い方、(3) 我が国の言語文化と、いずれも全国・県平均値を上回りました。特に、(3) 我が国の言語文化においては大きく上回っています。

○思考・判断・表現力 A話す・聞く、B書く、C読むでは、B書く において、全国・県平均値を大きく上回りました。

この結果から、「知識・技能」においては到達すべき学力が身につけてきていると思われます。日ごろの学習において、様々な知識を自分の中にインプットすることはできていますが、グループ学習などを通して、自らの考えを发表或し、仲間の意見を聞いたりする活動から、新たに自らの考えを深め、表現する力を伸ばしていく必要があると思われます。

また、「話す・聞く」「読む」の学力については、他の分野・領域とくらべて、全国・県平均値を下回る結果となっています。生徒質問紙の回答からも、読書活動に重点を置いた取組の必然性が明確になっています。子どもたちを取り巻く環境は、様々なメディアを通して、見て聞いて自然に情報を得ることが容易になっています。しかし、自分から能動的に必要な情報や知識などを獲得することが疎かになっています。日常の様子からも、子どもたちは長文を読むことを苦手に行っているところがあります。読書を通して、本と親しみ、文を読み解く、文字から学ぶなどの姿勢の育成が重要となっています。



### 【数学】

○領域 A数と式、B図形、C関数、Dデータ活用では、データ活用で全国・県平均値を上回りました。しかし、他は全国・県平均値をわずかに下回る結果となっています。

○観点 知識・技能、思考・判断・表現と、いずれもわずかに全国・県平均値を下回っています。

数学においては、分野の違いよりも、回答方式によって差が出ており、短答式の問題においては、全国・県平均値を上回っています。一方で、記述式(「～を説明しなさい」「～を証明しなさい」)では全国・県平均値を大きく下回っています。

知識・理解については、全国・県平均とほぼ同数値であり、必要とされる基礎的な理解は身につけている

と考えます。しかし、獲得した知識が、断片的なものにとどまっております、本質的なところに到達していないため、インプットした知識を活用するに至っていません。グループ学習を通じた学び合いや自主的な学習の中で、国語と同様に課題の文章を確実に読み解くトレーニングや、知識を活用して課題を解決する姿勢の育成にも取り組まねばなりません。

## 【英語】

○領域 (1) 聞くこと、(2) 読むこと、(3) 話すこと(やりとり)、(4) 話すこと(発表)、(5) 書くことでは、(1) 聞くことで全国・県平均値を上回りました。しかし、(2) 読むことでは全国・県平均値を大きく下回っています。

○観点 知識・技能、思考・判断・表現と、いずれも全国・県平均値を下回っています。

正答率の低い問題を見てみると、「文と文との関係を正確に読み取る」、「英文を読み取り概要をとらえる」ことが苦手であることが顕著です。単に英文を日本語に訳すだけでなく、話し手の意図や考えをくみ取り、まとめることが大切です。授業の中で、「実際に英語を使用しようとして互いの考えや気持ちを伝え合う」言語活動の充実を図る必要があります。ペア学習やグループ学習を通じて、英語を話す・聞く活動もしっかりと行いましょう。



## 【生徒質問紙】

### 《肯定的な指標》

◆学校は楽しい ◆基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん等）が身につけている ◆自分にはよいところがある。先生も認めている ◆最後までやり遂げる ◆困っている人を助ける ◆いじめはどんな理由でもいけない ◆人の役に立ちたい ◆自分と違う意見を考えるのは楽しい ◆友達との協力は楽しい ◆地域の行事に参加 ◆地球や社会をよくするために何をすべきか考える。

### 《改善が求められる指標》

◆計画的に家庭学習に取り組む ◆自分で学習する時間1～2時間 ◆読書時間1時間以下9割 ◆今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる

上記の結果より、自ら見つけ、自ら求めて学ぶ習慣（時間確保も含む）には依然として改善の余地があります。今、子どもたちに求められている力は、持っている知識から、一つの「正解」を見つけ出すのではなく、持っている知識を「活用」して、自分とは違う他者の様々な価値観、考え方、意見をすり合わせて、互いが納得できる「納得解」を導き出す力です。そのためにも、自らの課題を見つけ、課題克服のために、学習（読書も含む）に対し、自主的、能動的に取り組む姿勢、学んだことを自分の生活の中に結びつけ、理解し、解決する能力が重要となります。それらの力の育成を私たち教職員も再確認しなければなりません。

## 《学校公開デーのお知らせ》

9月13日（水）～15日（金）の3日間、「学校公開デー」を実施します。お子さまの日常の学校生活の様子や、授業の様子を見ていただきたいと思います。3日間とも、終日実施をいたしますので、ご都合の良い時間にきていただければ結構です。お忙しいこととは存じますが、ご都合がございましたら、ぜひご来校ください。

なお、ご来校された際には、職員室までお声かけください。